

飛躍へのアプローチ2018

～国内マーケット首脳に聞く～

▲13

▽

高度整備や電気用品に対応



全国自動車電装品整備商工組合連合会
紫関 雅美会長

全国自動車電装品整備商工組合連合会(電整連)の紫関雅美会長は、組織を強固にするためにも、会員工場が抱える後継者問題や整備士の採用など、人の問題と、高機能化する自動車の整備に対応するための設備や技術の習得をサ

ポートすることが必要と強調する。また、一般ユーザーへの認知度向上も業界の課題と指摘。会員工場のニーズに対応した情報提供や技術力を向上するための支援、そして一般ユーザーへのアピールを通じて自動車電装品業界の存在

会の活動報告だけでなく、整備技術に関する情報なども掲載している。月刊誌の内容についてアンケートした結果、大型車についてや、故障の事例など、現場に近いレベルの情報や新商品などに関する情報が欲しいという意見が多か

る人材の育成や損害保険会社などと協力して、事業承継や一般管理、自己啓発に関する講習会を実施するなど、工場の人材育成をサポートしていく

「若手の人材育成は(発足)4年目となった

感を高めていく方針だ。情報提供に注力している

「会員工場に対して情報提供するため、月刊誌『AES』を発行しているが、

「よりの高度な整備技術習得と、新しい電気用品への対応だ。『スキヤンツール第2弾』やハイブリッド車(HV)関連の講習会、電気整備士資格取得のための『二養講習会』に力を入れる。また、今年新しい規制に適合したフロンを管理・回収でき

青年部会の活性化の一環として、研修会でのテキストを用意するなどして支援している。研修会では青年部会の会員工場が講師を務めている。青年部会の組織は完成したが、主体となって何をしたいのか、どう運営していくのが課題だ。そこで今後は、活動を(電整連が)指導するのではなく、挑戦的な取り組みやテーマに合わせて、人や場所、情報の手配などをバックアップしていく方向にシフトする」

「一般ユーザーからの認知度アップの取り組みは

技術習得の場設け会員工場支援

「会員工場の強みである、地域とのつながりと電気に関連するノウハウ、技術力をPRする。1月には、青年部会が作成したパンフレットを全国展開した。さまざまな診断機器を活用して高度な整備を地域で提供できるプロである会員工場を一般ユーザーに知ってもらいたい。ユーザーの安心を確保するのに、ドライブレコーダーや運行管理機器などの電装品が寄与する。自動車の電子化が加速し、一般ユーザー自身が整備するのは困難でも会員工場の予防点検で安全を確保できる。エンジニア対応についても国の動向を見ながら体制を整えていきたい」

「自動車技術の進化で新しい設備機器も必要になる。『自動車の変革期にある中、必要な設備が確定していないことから会員工場がこれに備えるのは困難だ。今年一年で本物のニーズを見極め、来年度以降、情報や流通の面で会員工場を支援する」